

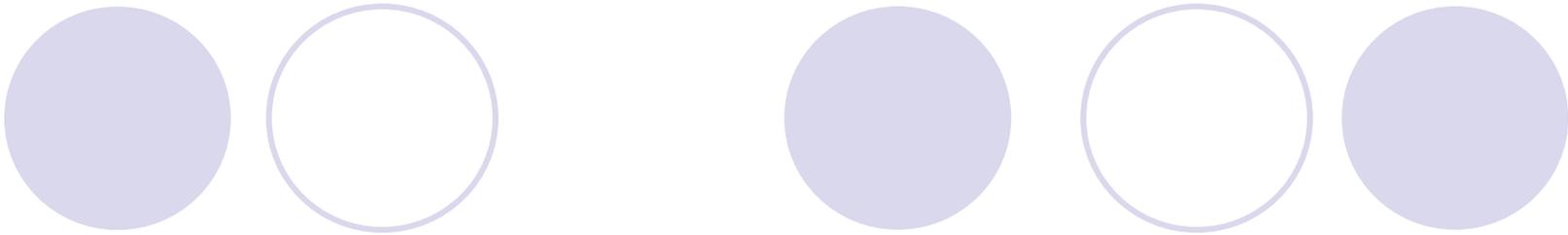
新入生履修ガイダンス



© WASEDA-UNIV.

2026年4月入学

情報生産システム研究科

- 
1. 修了要件・科目履修方法
 2. 授業成績の総合評価
 3. 安全保障輸出管理
 4. 不正行為への対処
 5. 研究室配属
 6. 修士論文中間発表会
 7. 修士修了審査

授業科目

本研究科では、「基礎講義科目」、「専門講義科目」、「実験科目」、「特論」、「演習」を設定しています。

基礎講義科目	各分野において専門的な学科目の学習と研究活動を行っていく上で必要となる基礎的な知識や技術の修得を目的として設定しています。
専門講義科目	本研究科の修士課程の中核をなす講義科目であって、修士課程修了生として修得しておくべき専門知識を学習することを目的としています。
実験科目	生産システム分野にて実験科目を設置しています。生産システム分野で広く使用される機器・設備に触れることを目的としています。
特論	主として個々の教員の先端研究に密接に関係する高度の講義科目であって、学生が所属する研究室における専門的知識を与えるために設定しています。
演習	修士論文のための学習・研究の一貫として行われるもので、研究室に所属している学生を対象に行います。

履修状況の早期是正を目的として、基礎・専門・実験科目の取得単位が12単位未満の場合には、事前警告を行う。

基礎、専門、実験科目18単位以上（基礎4単位以内）、演習または特論4単位以上取得、および研究倫理教育科目受講済み⇒修士論文中間発表の単位上の要件

	3月25日～	4月11日	8月28日	秋学期～	10月1日	3月1日
修士1年	研究室 仮配属手続	春学期 講義開始	春学期 成績発表	研究室 本配属	秋学期 講義開始	秋学期 成績発表

	4月上旬	8月末	10月初旬	1月下旬	2月末	3月下旬
修士2年	春学期 講義開始	春学期 成績発表	修士論文 中間発表/ 秋学期 講義開始	修士論文 発表	秋学期 成績発表	学位授与式

修了要件：
基礎科目・専門科目・実験科目を20単位以上（うち基礎科目は最大4単位まで）、特論を2単位、演習を8単位以上取得し、合計30単位以上を修得したうえで、修士論文に合格すること。

<4月入学生>

修了要件・科目履修方法

単位取得に関する修士課程の修了要件は次を満たすこと。

基礎・専門講義科目、 実験科目	特論	演習	研究指導
20単位以上 (基礎講義科目は 4単位以内)	2単位	8単位以上	1年半以上

- *仮配属、本配属を希望する研究室の教員の科目を少なくとも1つは履修すること。
- *教員によっては、履修科目の指定があるので確認すること。
- *特論、演習は指導教員の科目とする。
- *修了要件としては、基礎講義科目は4単位までしか認定されない。
- *グローバルエデュケーションセンター設置科目「学術・研究公正概論（生命・理工系）」を原則として入学後1年以内に履修する。

科目履修モデル (4月入学)

項目		1年		2年		修了要件 30単位以上
		春期	秋期	春期	秋期	
講義・ 実験科目	基礎 講義科目	20				(4以内)
	専門 講義科目					20
	実験科目					
特論(必修) ※秋期のみ開講			2			2
演習(必修)			4	4		8
修士論文(単位なし)			研究指導・修士論文		合格	

*特論、演習は指導教員の科目とする。

特論・演習の履修時期 (4月入学)

修士1年		修士2年	
春期	秋期	春期	秋期
—	演習A (2単位) 演習D (2単位) 特論 (2単位)	演習B (4単位) 演習C (2単位)	修士論文

*特論、演習、修士論文は自動登録される。

*演習A,B,C,Dは合計10単位だが、修了単位には8単位まで算入される。

取得単位数の確認方法

MyWaseda成績照会画面

早稲田大学事務サービス

閉じる (44)

教務・成績・情シス研>試験成績>成績照会

学生検索

さんの成績です。

学籍状態	在学中
判定結果	
外国語	
クラス	
発表開始日付	2013年08月27日 09時00分

年度分のみ 全て 表示

単位修得状況の照会

「単位修得状況の照会」をクリック!

印刷

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目名	取得年度	学期	単位	成績	GP
◎講義・実験科目◎					
【基礎講義科目】					
半導体工学	2012	秋期	2		
デジタル信号処理	2012	秋期	2		
数値解析	2013	春期	2		
【専門講義科目】					
ソフトコンピューティング	2012	秋期	2		
材料の微細組織と特性	2012	秋期	2		
オンチップメモリ	2012	秋期	2		
伝送回路	2012	秋期	2		
アナログLSI設計	2012	秋期	2		
デジタルLSIアーキテクチャ	2012	秋期	2		
ネットワーク・インタフェース	2012	秋期	2		
LSIシミュレーション技術	2013	春期	2		
◎演習◎					
【演習】					
演習B	2013	春期	4		
演習C	2013	春期	2		
◎研究指導◎					
【研究指導】					
研究(修士) 春	2013	春期	0	P	

Copyright (C) Media Network Center, Waseda University 2002-2013. All rights reserved.
[著作権・使用許諾条件](#) / [個人情報保護](#) / [使用不可文字について](#) (s-caz-0103-wisdom01)

インターネット | 保護モード: 有効 100%

の単位修得状況です。

印刷

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目区分名		所定	取得	算入
講義・実験科目	基礎講義科目	4	6	4
	専門講義科目		16	16
	実験科目		0	0
	小計	20	22	20
特論	特論	2	0	0
	小計	2	0	0
演習	演習	8	6	6
	小計	8	6	6
総合計		30	28	26

年度	GPA
2012年度	3.78
2013年度	4.00
通算	3.86

※注意書き

年度	GPA
「履修年度」	「春学期GPA」
	「秋学期GPA」
通算	「通算GPA」

GPAが空白の場合、該当学期に履修した科目がありません。

ココが重要！

修了するためには
30単位必要です。

各学期の成績発表後、必ず自身の責任にて、取得単位を確認してください。
 上表の「算入」にある単位数が修了単位となります。
 基礎講義科目は4単位までしか修了単位にならない
 ので、要注意！

その他、ひびきの学研都市で受講できるもの

- 学研都市連携大学院

学研都市内3大学院が連携し、実践的な教育プログラムを開発、実施。自動車・ロボットの高度化知能化に向けた高度専門人材育成を目的とする。

- 学研都市単位互換制度

学研都市内で北九州市立大学、九州工業大学の単位互換科目を履修し、IPPSの単位として取得することが可能。

研究倫理教育について

- グローバルエデュケーションセンター設置
科目「学術・研究公正概論（生命・理工系）」
 - 自動登録、夏クォーター科目、受講は6/4～
※夏クォーター：6/4～7/22
 - <https://www.waseda.jp/inst/ore/subject/introduction/>
- 中間発表、修士論文提出に必須



Webによる科目登録

Course Registration by web

登録期間：

1次登録 3月31日（火）9:00 ～ 4月2日（木）17:00

2次登録 4月7日（火）9:00 ～ 4月8日（水）17:00

3次登録 4月17日（金）9:00 ～ 4月18日（土）17:00

Course Registration:

1st registration period Mar. 31 (Tue.) 9:00 – Apr. 2 (Thu.) 17:00

2nd registration period Apr. 7 (Tue.) 9:00 – Apr. 8 (Wed.) 17:00

3rd registration period Apr. 17 (Fri.) 9:00 – Apr. 18 (Sat.) 17:00

Webによる科目登録 Course Registration

- 修士課程の学生は必ず科目登録期間中に今学期の履修登録を行うこと。**3次登録期間終了後は登録出来ませんのでご注意ください。**
- Please register your courses during the course registration period. **No registration will be accepted After 3rd registration period.**
Please be aware.



Webによる科目登録

Course Registration

- 時間割や講義について、追加や変更もあります。登録期間中も事務所横の掲示板やWebサイト（IPSスクエア）にて随時ご確認下さい。
- **There can be updates on information of classes. When you do registration, check the bulletin board at the IPS office or website (IPS Square).**

<IPSスクエア>

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/campuslife/gakumu/>

<IPS Square>

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/en/campuslife/gakumu/>



Webによる科目登録 Course Registration

- 毎学期始めの科目登録期間にその学期に履修する科目を登録してください。登録しなければ単位を取得できず、修了ができなくなる可能性がありますので登録もれのないよう注意してください。
- **Please be careful not to miss the course registration period at the beginning of every semester. You might miss the graduation, if you miss the registration.**

講義出席について

Attending the lectures

- 2026年度も、対面授業が実施されます。
- Web科目登録した科目について、各登録最終日の翌日からWaseda Moodle にゲストとして仮登録され、講義情報を入手することができます。（科目登録期間中に取消した科目は、結果発表後にゲスト登録が解除され、Waseda Moodle には表示されなくなります。）
- 出来る限り履修希望の第一回目の講義に出席できるように1次・2次登録期間中に科目登録をしてください。
- **Classes in 2026 will be conducted face-to-face.**
- **For courses registered on the Web, you will be temporarily registered as a guest in Waseda Moodle from the day after the last registration day. You can then get the lecture information.**
(For courses canceled during the course registration period, the guest registration will be canceled after the results are announced. It will also be deleted in Waseda Moodle.)
- **Please register during the 1st and 2nd course registration periods so that you can attend the 1st lecture as much as possible.**

授業成績の評価

Evaluation of exam results

目的

奨学生決定、就職推薦、修了時総代決定の際、
参考にされることがある。

Purpose

It might be used for deciding:

Screening of Scholarship recipient,

Job recommendation, Representative of
commencement ceremony, etc.

評価方法

1. 計算式

科目の成績評価に対してGrade Pointと呼ばれる換算値（A+は4点、Aは3点、Bは2点、Cは1点、不合格は0点）が決められています。それぞれの「科目の単位数」と「成績評価のGrade Point」の積の総和を「総登録単位数」で割って、スコア化したものがGPA（Grade Point Average）です。総登録単位数には、不合格科目の単位も含まれます。これを式で表すと、次のようになります。

$$\frac{(A+\text{修得単位数} \times 4) + (A\text{修得単位数} \times 3) + (B\text{修得単位数} \times 2) + (C\text{修得単位数} \times 1) + (\text{不合格科目単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数 (不合格科目を含む)}}$$

※GPAは、小数第2位まで表示します。（小数第3位は、四捨五入とします。）

2. 対象科目

卒業算入対象科目として登録した科目でA+、A、B、C、F
評価された科目

2. Subjects used in the GPA calculation

The GPA calculation considers only the subjects registered as the subjects to count toward graduate credits.

The subjects which are evaluated A+, A, B, C, or F.

3. GPAの通知・証明

GPAは、MyWaseda 成績照会画面にて参照可能です。また、GPA対象科目の成績およびGPAが記載された「GPA証明書」も発行可能です。「GPA証明書」発行希望の場合は、事務室にてお申し込みください。なお「成績証明書」には、GPAは記載されません。

3. GPA on Grade Report and Transcript of Academic Record

Please note that the GPA will appear on the Grade Report in MyWaseda, but not on the Transcript of Academic Record.

“Transcript of Academic Record / GPA” indicating the GPA is available at IPS office.

安全保障輸出管理

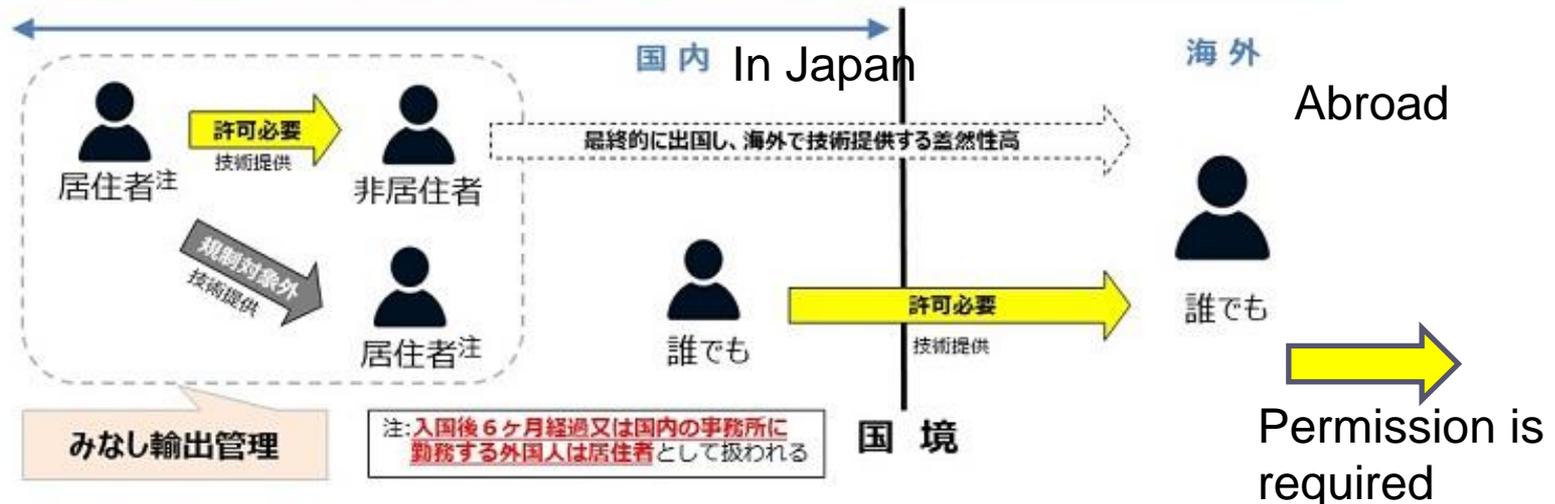
外国為替及び外国貿易法(外為法)と「みなし輸出」について

- 外為法では、海外への技術提供が規制されています。
現在は国内の非居住者への技術提供も「輸出」と見なされ、規制の対象となります(＝みなし輸出)。
 - 令和3年11月18日公布・令和4年5月1日に施行、適用
 - <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/anpo07.html>
 - **共同研究・国際共著論文・指導などを通じて非居住者に技術を提供する可能性がある場合は、必ず事前に指導教員に相談してください。**
 - 必要に応じて、指導教員が大学を通じて経済産業省へ申請を行います。
 - **違反した場合、法的な罰則を受ける可能性がありますので注意してください。**
- ▶ 詳細: 早稲田大学 輸出管理ウェブサイト
<https://dpt-stc.w.waseda.jp/first/index.html>

規制対象となる技術提供行為[1]

外為法において規制対象となる技術提供行為 ～みなし輸出管理とは～

- 外為法では、以下の行為を経済産業大臣への許可申請が必要な「技術の提供」として管理。
 - ① 国境を越える規制技術の提供(地理的視点)
 - ② 居住者から非居住者への規制技術の提供(人的視点)
- 上記②のとおり、日本国内における居住者から非居住者への技術提供についても、当該非居住者は最終的に出国する蓋然性が高いことから、「輸出とみなして」管理しており、これを「みなし輸出」管理という。
- 入国後6ヶ月経過又は日本国内の事務所に勤務する外国人は居住者として扱われるため、これらの者への技術提供はみなし輸出管理の対象外とされていた。



[1] <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/anpo07.html>, (Accessed at July 21, 2025).

みなし輸出管理の運用明確化 [1]

みなし輸出管理の運用明確化

- 国際的に人を介した機微技術流出懸念が増大する中、従来のみなし輸出管理では特定国の影響下にある居住者が機微技術流出に關与するリスクに十分に対応できていないとの指摘があった。
- 「役務通達」の改正により、居住者への技術提供であっても、雇用契約や経済的利益等に基づき外国政府や外国法人(非居住者)の強い影響を受けている状態(特定類型)に該当する居住者への技術提供については、みなし輸出管理の対象であることが明確化された。
(令和4年5月から適用)
- 特定類型は、以下の①～③に分類される。



特定類型

- ①雇用契約等の契約に基づき、外国政府等・外国法人等の支配下にある者
- ②経済的利益に基づき、外国政府等の実質的な支配下にある者
- ③国内において外国政府等の指示の下で行動する者

※各特定類型の正確な定義については、必ず「役務通達」の規定を確認すること。

安全保障輸出管理に係る誓約書について

- 全ての学生は安全保障輸出管理に関する誓約書を指導教員に提出する必要があります。

➤ 以下その解説です。

- 早稲田大学での研究成果である技術情報や貨物(計測機器や試料等)が、不用意に大学から流出・拡散し、大量破壊兵器等の製造・開発等に転用されることのない様に、各研究者に以下のコンプライアンス遵守をお願いするものです。

安全保障輸出管理に係る誓約書について(2)

1. 許可なく、技術情報、所有物の持ち出しの禁止。軍事転用禁止。
2. 海外、非居住者(含特定類型)への**技術情報の提供**は、早稲田大学安全保障輸出管理規程に従うこと。
3. 海外への**貨物の輸出**は早稲田大学安全保障輸出管理規程に従うこと。
4. 早稲田大学卒業および退職後、本学で得られた知識、技術、ノウハウ等を日本国外、非居住者に展開する場合、**外為法を遵守**すること。

試験およびレポートに関する
不正行為への対処

**Rules for Dealing with a Dishonest Act on
an examination / a report**

1. 不正行為の種類

1) 試験に関する不正行為

①カンニング(携帯、スマートフォン、タブレット等の使用)

②不正受験

③試験問題事前取得及び漏洩

2) 論文審査(レポート)及び論文審査以外のレポートなどに関する不正行為

①レポート剽窃

②レポート代筆

③剽窃幫助

2. 不正行為に対する処分

- 原則として停学3ヶ月
(停学起点日は不正行為実施日)
当該セメスター登録のすべての科目無効
- 処分適用の場合、研究科長より適用者へ
処分内容を連絡するとともに、
原則として内容及び氏名を公示する。

過去の処分事例

- ・ 学生Aさん
 - ・ ・ 停学2ヵ月、当該学期の全科目無効
 - ・ 学生Bさん
 - ・ ・ 停学2ヵ月、当該科目無効
 - ・ 学生Cさん
 - ・ ・ 停学2ヵ月、当該学期の全科目無効
- いずれも不正内容、氏名を公示。

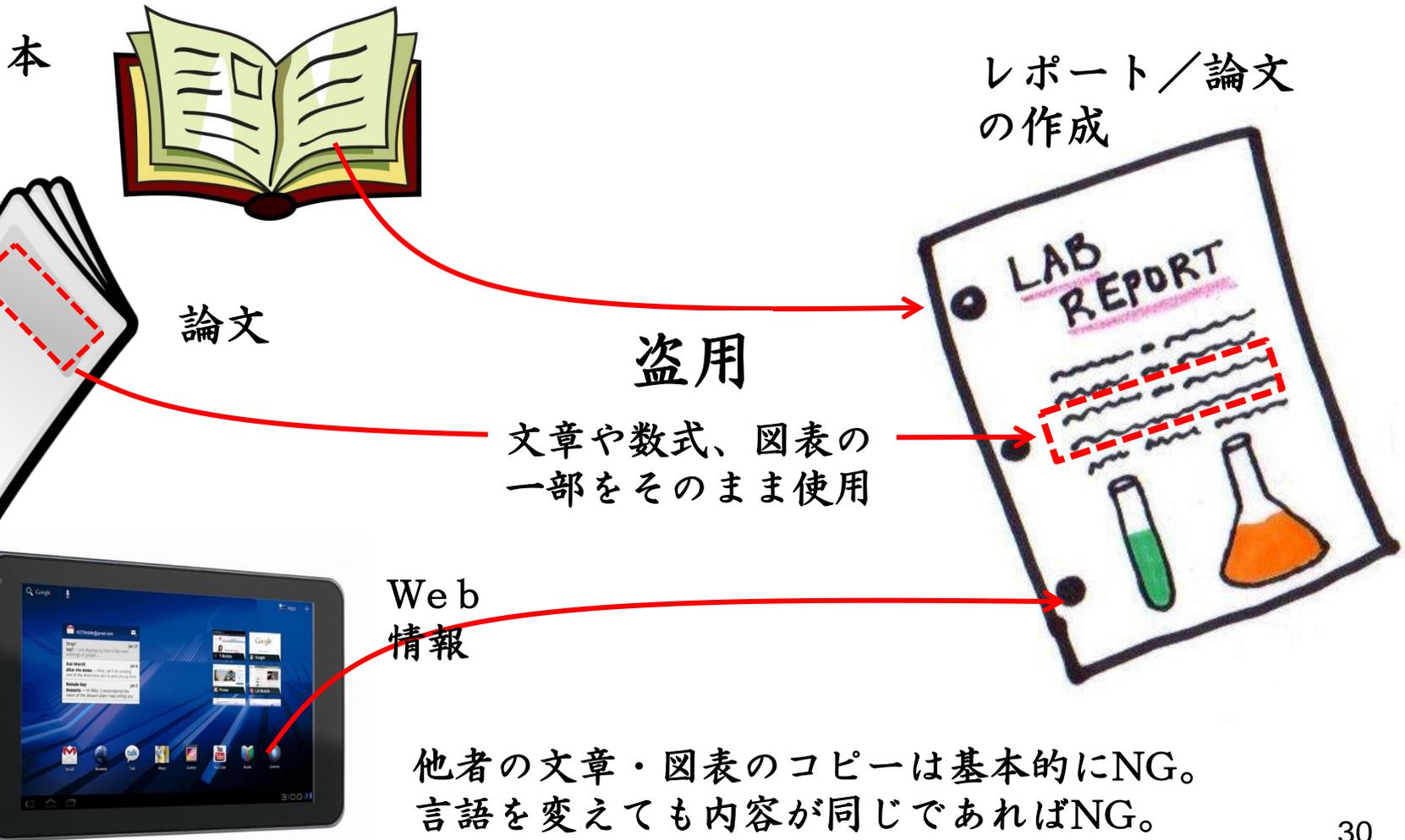
レポートで引用方法を間違えると 盗用になるので要注意

- ・ 盗用の定義（[1]より引用）
 - [1]では「他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。」としている
- ・ 引用・参照
 - 他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、出典を明記して用いる
- ・ 他人のアイデア・情報は他人のものと明示する

[1] MEXT (Ministry of Education, etc.),
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu12/houkoku/attach/1334660.htm,
Access at Jan. 31, 2019.

盗用 or 引用 (盗用のケース)

他人、あなた自身の著作物

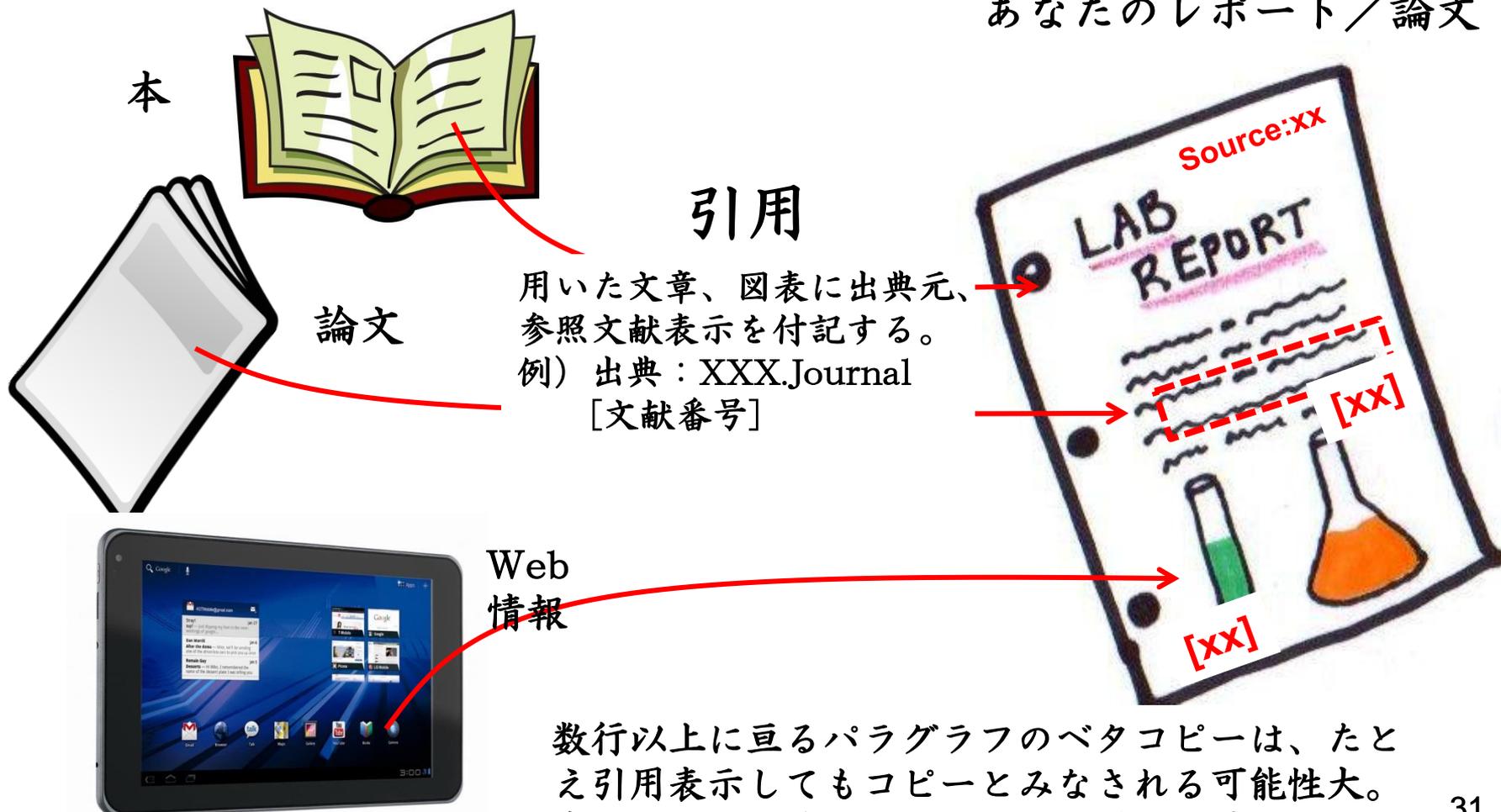


他者の文章・図表のコピーは基本的にNG。
言語を変えても内容が同じであればNG。
但し、用語や語句など部分的なものは問題なし。

盗用 or 引用 (引用のケース)

他人、あなた自身の著作物

あなたのレポート／論文



数行以上に亘るパラグラフのベタコピーは、たとえ引用表示してもコピーとみなされる可能性大。自分や仲間の論文であっても引用は必要。

引用・参照（[2]より引用）

・ 直接引用

- 他の人の文章をそのまま用いる場合
- 「…である」 [???] としている
 - ・ 「」で囲んで引用箇所を明示。変更は不可
 - ・ [???] は文献番号など出典との対応関係を表す
 - 出典情報はページの脚注あるいは文章の最後に一覧で明示

・ 間接引用

- 内容を要約して他者の情報を伝える場合
- ??? は [???] で新たな手法を提案している。
 - ・ 最初の ??? は人の名前、[???] は文献番号情報など
- クロックゲーティングの新たな手法が提案された [3], [4]。

[2] <http://www.juen.ac.jp/psych/nakayama/making/02.html>, Access at Jan. 21, 2016.

[3] A. Hurst, "Automatic Synthesis of Clock Gating Logic with Controlled Netlist Perturbation," Proc. DAC 2008, pp.654-657, June 2008.

[4] Pietro Babighian, Luca Benini, Enrico Macii, "A Scalable Algorithm for RTL Insertion of Gated Clocks Based on ODCs Computation," IEEE Trans. on CAD, Vol. 24, No. 1, pp.29-42, Jan. 2005.

参考文献

Reference / Bibliography

- [1] MEXT (Ministry of Education, etc.),
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu12/houkoku/attach/1334660.htm, Access at Jan. 21, 2016.
- [2] <http://www.juen.ac.jp/psych/nakayama/making/02.html>,
Access at Jan. 21, 2016.
- [3] A. Hurst, “Automatic Synthesis of Clock Gating Logic with Controlled Netlist Perturbation,” Proc. DAC 2008, pp.654-657, June 2008.
- [4] Pietro Babighian, Luca Benini, Enrico Macii, "A Scalable Algorithm for RTL Insertion of Gated Clocks Based on ODCs Computation," IEEE Trans. on CAD, Vol. 24, No. 1, pp.29-42, Jan. 2005.

盗用と引用・参照の判断

- ・ 他人のアイデア・情報は他人のものと明示する
 - 正しく引用・参照する
 - 最低限に留める
- ・ 判断は教員による
 - 引用が許される場合と許されない場合がある
 - 各教員の指示に従うこと
- ・ レポート課題に対して、他の意見を正しく参照しながら、何かしら自分で考え、自分の言葉で書くことが重要
 - 先輩のレポートと同じものは許されない

修士課程学生
研究室配属
Master Course
Laboratory Assignment

2026年4月 / Apr. 2026

研究室配属について

Laboratory Assignment

1. 仮配属と本配属

Provisional and Official laboratory assignment

2. 研究室配属方法

Method of laboratory assignment

3. 配属の手続に関する日程

Schedule for Laboratory Assignment Procedures

4. 今年度の研究室配属定員数

Maximum number of students for laboratory assignment

1. 仮配属と本配属

Provisional and Official Laboratory Assignment

- **2026年4月**入学者はまず研究室への仮配属を行う必要がある
 - **7月**に研究室を最終的に決定する(本配属)
 - 仮配属先を本配属先とする学生がほとんど
- Students who entered in **April** should apply for provisional laboratory assignment
 - At **July**, students need to decide the official laboratory
 - Most students select the provisional laboratory as the official one

2-1. 研究室配属方法

Method of Laboratory Assignment

- 1) 希望する研究室の教員と面談する(メールなどで予約)
教員が受け入れを合意すれば、研究室への配属ができる
Please contact to a professor of an expected laboratory.
(Please make an appointment of interview via mail.)
It is necessary to obtain the agreement of the supervisor to join.
- 2) 選択範囲を広げて複数の教員と面談する
希望の多い研究室は早期に枠が埋まる
Please think several choices and meet several professors.
Popular laboratories reach the assignment limit earlier.
- 3) 仮配属先に本配属となることが多いので、仮配属が重要
Provisional laboratory assignment is important since it is usual to select the same laboratory for provisional and official ones.

2-2. 配属定員

Maximum Number of Students

- 1) 入学年度毎に研究室への最大配属者数が決められている
最大配属者数を超えての配属はできない

The maximum number of students of each laboratory is fixed at each academic year of the enrollment.

Professor can accept students under the maximum number.

- 2) 最大配属者数は仮配属と本配属の時で変化しない

The maximum number of students is the same at provisional and official laboratory assignment.

- 3) 本配属を遅らせて次年度の配属枠に応募するのはできない

It is not possible to delay the final laboratory assignment and apply for the assignment slots of the next academic year.

2-3. 仮配属の規則

Rules Related to Provisional Laboratory Assignment

- 1) 仮配属先は変更前後の教員の許可を得て変更できる

Students can change provisionally assigned laboratory under the agreement of the supervisors of both laboratories.

- 2) 仮配属学生は教員の許可を得て仮配属を中止できる

Provisional assignment can discontinue under the supervisor's agreement by submitting "*Provisional assignment discontinuance application form*".

- 3) 仮配属は本配属のための必要条件ではないが、本配属までの継続を推奨、本配属は修了に必須

The provisional assignment is not a necessary condition of the official assignment but it is recommended to continue until the official one.

The official laboratory assignment is necessary for the graduation.

- 4) 不明点は事務へ相談

Please ask to IPS office on details.

3-1. 仮配属の日程

Schedule of Provisional Laboratory Assignment

1次ラウンド / 1st round		
<p>希望研究室の教員と連絡をとり、面談等を行う ※先生とメールでコンタクトを取る際、自己紹介シートを送ること</p> <p>Contact the faculty member of your desired laboratory and conduct an interview or other necessary meetings. *Send "Self-Introduction Sheet" when you have a contact with supervisors by email.</p>	学生 Students	3/25(Wed)- 4/8(Wed)
<p>結果を掲示およびメールでお知らせ。なお右記の日程より前に、仮配属の途中経過を発表する。</p> <p>The results will be posted and notified via email. Additionally, the interim status of the provisional assignment will be announced before the specified date.</p>	事務所 Office	4/9(Thu)

2次ラウンド / 2nd round

※1次ラウンドで決定しなかった学生のみ

*Only for students who were not assigned in the first round.

<p>未配属学生に公開される、各教員の「受入要件」の文書を熟読する。そのうえで定員に空きがある研究室全てについて希望順位を記入した仮配属希望調書を事務所に提出。</p> <p>Carefully read the “Laboratory Entry Requirements (as specified by each professor)” available to unassigned students. Then, fill out and submit the application form to the office, listing all laboratories with available slots in order of preference.</p>	未配属の学生 Unassigned students	4/9(Thu)- 4/14(Mon)
<p>希望順位と入試成績により仮配属決定。結果を掲示およびメールでお知らせ</p> <p>※2次ラウンドで決まらない学生は、仮配属研究室は無しとなります。</p> <p>Provisional laboratory assignments will be determined based on preference order and entrance exam results. The results will be posted and notified via email.</p> <p>**Students who are not assigned in the 2nd round will not have a provisional laboratory assignment.**</p>	事務所 Office	4/15(Tue)

3-2. 本配属の流れ

Official Laboratory Assignment Process

詳細な日程は、改めてIPSスクエアおよびメールにて案内します。

The detailed schedule will be announced later via IPS Square and email.

7月上旬	1次研究室本配属希望登録締切り
Early July	Deadline for 1st-Round Official Laboratory Assignment Registration



7月中旬まで	希望研究室の教員と連絡をとり、面談等を行う
By mid-July	Contact the faculty member of your desired laboratory and conduct an interview or other necessary meetings.



7月中旬	「1次研究室本配属決定者」を結果を掲示およびメールでお知らせ
Mid-July	Announcement of 1st assignment results reflecting interview

★研究室未定の学生
Students not assigned



★研究室未定の学生
Students not assigned



8月上旬 以降	希望研究室の教員と連絡をとり、面談等を行う。2次研究室本配属申請(第1希望～第3希望を記入)を提出。希望順位と第1学期の成績に基づき配属先決定。結果を掲示およびメールでお知らせ。
From early August onward	Contact the faculty member of your desired laboratory and conduct an interview or other necessary meetings. Submit the 2nd Research Laboratory Assignment Form (listing your first to third preferences). The assignment will be determined based on your preference order and first semester grades. The results will be posted and notified via email.

情報アーキテクチャ分野

研究	配属定員数	研究指導教員
	2026年 4月入学者	
スマートインダストリー	3	藤村教授
ニューロコンピューティング	4	古月教授
データ工学	4	岩井原教授
イメージメディア	4	鎌田教授
バイオ情報センシング	6	亀岡教授
用例翻訳・言語処理	4	ルパージュ教授
バイオ・ロボティクス& ヒューマン・メカトロニクス	4	松丸教授
コミュニティ・コンピューティング	3	吉江教授
ネットワークインテリジェンスとセキュリティ	募集なし	伍教授
ヒューマニティ中心インタラクション	3	家入准教授

生産システム分野

研究	配属定員数	研究指導教員
	2026年 4月入学者	
設計工学システム	5	荒川教授
移動ロボティクス・プラットフォーム	5	橋本教授
マイクロナノ流体デバイス	4	馬渡教授
バイオイオントロニクス	4	三宅教授
機械システム設計	4	田中教授
生産プロセス工学	5	立野教授
知能半導体工学	5	植田教授
半導体デバイス材料工学	4	志村教授
生体医工学	4	高橋教授
パワートレインシステム	3	山口准教授

集積システム分野

研究	配属定員数	研究指導教員
	2026年 4月入学者	
マイクロ電気機械システム	5	池橋教授
画像情報システム	3	池永教授
発光システム	5	碓塚教授
高位検証技術	5	木村教授
知的音響システム	募集なし	牧野教授
光電子集積システム	5	高畑教授
グリーン集積システム	5	丹沢教授
集積システム最適化	5	山崎教授
無線通信回路技術	3	吉増教授
テラヘルツ集積システム	7	芹田准教授

修士論文中間発表会

The Intermediate Presentation for
Master's Thesis

早稲田大学大学院
情報生産システム研究科

1. 目的および提出書類

Purpose and Submission Document

□ 目的/Purpose

- ・ 修士論文の進捗状況

To examine the progress of the master's thesis

- ・ 履修科目の理解度

To examine comprehension of subjects

研究および科目履修がおもわしいかどうかの判定を行なう

□ 提出書類/Submission Document

中間発表概要書

The outline of Intermediate Presentation

2. 実施時期および対象学生 Schedule For Presentation

□ 実施時期/Schedule

修了希望半年前（4月初旬または10月初旬）

6 months before your target graduation (Either beginning of April or October).

□ 対象学生/Qualification

以下のすべての条件を満たす者/Must meet all of the following conditions:

1. 休学期間を除き、修士課程に1年半以上在籍していること

Has been enrolled in a master's program for at least 1.5 years (excluding periods of leave of absence)

2. 修了希望時期の半年前であること

Is six months away from the intended completion date

3. 入学から**1年後**の時点（休学期間を除く）で、以下の単位を取得していること

At the point one year after enrollment (excluding periods of leave of absence), the following credits have been earned:

・講義科目（基礎講義科目、専門講義科目、実験科目）を18単位以上取得すること（このうち、基礎講義科目は最大4単位まで算入される）

18 or more credits from lecture subjects (fundamental subjects, advanced subjects, and laboratory courses), including up to 4 credits from fundamental subjects

・演習または特論4単位以上 4 or more credits from Exercises or Specialized Subjects

・合計22単位以上 A total of 22 or more credits

3. 審査委員と判定方法

Examiners and Screening Procedures

- 審査員/Examiners
研究指導を担当する教員を含む3名の本研究科教員が審査する。
The examiners consist of three faculty members including the student's supervisor as a chief-examiner.
- 修士論文中間発表の判定は合否により行う。
The result of screening will be pronounced as success or failure.
- 審査員のうち2名以上の審査員が否の判定をした場合、警告を発する。
In the case two or more examiners reject the presentation, the warning will be issued to the student.

修士修了審査

The screening procedures of the master's thesis

早稲田大学大学院
情報生産システム研究科

1. 目的および提出書類

Purpose and Submission Documents

□ 目的 / Purpose

修士修了の判定を行う

Evaluation of master course completion.

□ 提出書類 / Submission documents

1. 修士論文概要書

The outline of master's thesis

2. 修士論文 / The master's thesis

2. 対象学生 / Qualifications

- 原則として修士課程在籍(休学期間を除く)
2年目(以降)の学生

The students who are in one's 2nd years of the master's course in principle (the period of leave of absence will not be counted).

- 修士論文、修士論文概要書を期限までに
提出した学生

The students who submit the master's thesis and the outline of master's thesis by the deadline.

3. 実施時期および審査員 Schedule and Examiners

□ 実施時期 / Schedule

各学期末(7月, 2月)

At the end of each semester.(in July or February)

□ 審査員 / Examiners

主審査員1名/ 1 chief-examiner

副審査員2名/ 2 examiners

4. 審査方法 / Screening Procedures

□ 審査方法 / Screening procedures

1. 審査は修士論文と論文発表会の結果を考慮し合否判定を行なう。

Success or failure is determinate in consideration of the evaluation of the master's thesis and the oral presentation.

2. 審査員のうち2名以上の審査員が合の判定を行った場合、合格と判定する。

Two or more examiners' judgment as success is required to pass.

注意： 修士修了判定は論文合格に加えて所定の取得単位要件を満たすことが必要である。

For completing the master's course, prescribed credit earning is also required.

5. 論文の外部発表

Publishing a paper

- 修士論文の内容で外部発表をする場合は、IPSの指導教員に相談すること。

You should obtain the approval of your advisor in IPS when you will publish a paper on the results of your master thesis of IPS at some conference/workshop/journal/transaction.